



令和元年度秋季特別展

森本晴雲

— 詩墨画の世界 —

前期 9/21(土)~10/22(火)

後期 10/25(金)~11/24(日)

※前期・後期で一部作品を入れ替えます



作品を制作中の森本晴雲

○開館時間 午前9時~午後5時 (入館は4時30分)

○休館日 毎週火・水曜日
(10/22開館、10/24休館)

○入館料金 大人200円、高・大学生150円、
小・中学生100円

- 20名以上の場合は2割引 ●幼児および南丹市内在住、在校の小中学生は無料
- 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保険福祉手帳、戦傷病者手帳を持つ方とその介護者は半額

南丹市日吉町郷土資料館

〒629-0334 京都府南丹市日吉町天若登地谷7番地 / TEL:0771(68)0069 FAX:0771(72)1130



(交通案内)

京都縦貫自動車道「園部IC」左折、府道19号園部平屋線を直進、南丹市日吉町内「日吉大橋」を右折、「スチールの森京都」内。
※公共交通を利用してお越しになれる方は、バスなどの時間に制約がありますのでご注意ください。

森本晴雲 ～詩墨画の世界～



① 南丹市日吉町郷土資料館は、日吉ダム建設に伴い水没した中・天若地域とこの地に暮らしていた人々の生活を後世に伝えるため、展示活動や体験活動などを行ってきました。今回の展示会では、日吉町出身の作家森本晴雲氏を紹介いたします。

森本は墨画に自作の詩を添え書き、その作品を「詩墨画」と称することで、独自の世界を築きあげました。早くに故郷を離れた森本ですが、事あるごとに故郷を取材に訪れ、日吉ダム建設に伴い消えゆく中・天若の風景などを作品に残しています。また、ポーランドのボズナニ国立博物館での展示会を行うなど海外の活動にも精力的に取り組んでいました。本展は書家・画家として活躍した森本晴雲の足跡をたどりながら、故郷に残された作品の数々を一堂に会します。故郷への想いや魅力が描き込まれた森本の作品をご覧ください、故郷南丹市を見つめなおす機会となれば幸いです。



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

南丹市日吉町郷土資料館 〒629-0334 京都府南丹市日吉町天若登地谷7番地
TEL.0771-68-0069 FAX.0771-72-1130 E-mail:h-museum@city.nantan.lg.jp

表:山河惜別の賦(昭和59年) 裏:①京都丹波故山の譜(平成8年) ②群魚の図(平成2年) ③大堰川筏流しの図(平成8年) ④天若上世木の民家(昭和61年) ⑤石榴(平成14年) ⑥猿(平成16年) ⑦茄子(平成14年) ⑧雀(平成14年) ⑨水面の譜(平成8年)